

適用規格					
定 格	使用温度範囲	-25℃ ～ +85℃	保存温度範囲	-10℃ ～ +60℃	
	電 圧	AC 30 V , DC 42 V	電線サイズ	MAX AWG#26	
	電 流	2 A	適合ケーブル	φ7.3±0.2	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	単位コネクタをDC 1 Aで測定する。	15 mΩ以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	1000MΩ以上	○	○
	耐電圧	端子間、端子-シェル間にAC 300 Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的性能	コネクタの挿抜力	一の鋼製ピンで測定する。	挿抜力 ー N 以上	—	—
	コネクタの挿抜力	適合コネクタで測定する。 但し、ロック機構を除く。	挿抜力 50 N以下	○	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	接触抵抗: 30 mΩ以下	○	—
	耐振性	周波数 10～ 55～ 10Hz, 振幅 0.75mm 5分/サイクルで3軸方向各10サイクル試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3軸両方向各 3 回試験する。	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	コネクタ破壊強度	適合コネクタをか合した状態で、ケーブルを上下左右方向に力を加える。	35Nでコネクタの破損が無いこと。 △2	○	—
環境性能	定常状態の耐湿性	温度 40℃, 湿度 90～95 %中に 96時間放置する。	①絶縁抵抗: 10 MΩ以上 (高温時) ②絶縁抵抗: 100 MΩ以上 (乾燥時) ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	温度サイクル	温度 -55℃ →常温 → +85℃ →常温 時間 30 → 2～3 → 30 → 2～3 分 を 5サイクル試験する。	①絶縁抵抗: 100MΩ以上 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	機能を損なうようなはなはだしい腐食がないこと。	○	—
	耐熱性	温度 +85℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐寒性	温度 -55℃中に 96 時間放置する。	破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	はんだ耐熱性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で5±1秒間ソルダ-ポ-ット部へ当てる。	外観に機能を損なう変形及び著しいガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだこてをこて先温度+350±10℃で2～3秒間のはんだ付けを行う。	はんだ付け表面は、ピンホール、ぬれなし、はんだはじき部分などの欠点のないこと。	○	—
	耐水圧性	適合コネクタをかん合した状態で水深 1.8mに 48時間放置する。 △3	コネクタ内部への浸水がないこと。	○	—
	耐気圧性	適合コネクタをかん合した状態で、コネクタ内部に17-圧 17.6kPaを 30秒間加える。	コネクタ内部より気泡の発生がないこと。	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
3	2	DIS-C-00003888	KN. IKEHARA	HY. KOBAYASHI	20200312
備考			承認	YH. YAMADA	20170614
			検 図	EJ. KUNII	20170614
			担 当	KN. IKEHARA	20170614
			製 図	KN. IKEHARA	20170614
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。 △3					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-377501-00-00	
HRS	製 品 規 格 表		製品名	LF10WBLPA-12P △1	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL136-0039-0-00	△3 1/1